

B14b インターネット時代のお手軽プロ - アマ共同観測-V838 Mon の例

清田 誠一郎 (VSOLJ)

V838 Mon は、2002年1月に、N.J. Brown (IAUC7785) によって発見された新星様の得意天体で、発見1ヶ月後に、4等におよぶ再増光を示したこと、天体の周りの星雲が増光によって照らされる様子が観察されたことなどから注目された。この天体を発見直後から、口径25cm望遠鏡とCCDを使って、BVIcの3色測光を行った。2002年2月の再増光、4月の急減光を含めて、変光の様子全般をカバーした光度曲線が得られた。

結果をVsnetを通して発表していたところ、Padova天文台のDr.Munariから、このデータを執筆中の論文に含めたい由のe-mailをいただき、共著者に含めていただいた。当初から、共同観測を模索していたのでは無く、思いがけない形で共著論文として観測をまとめられたことは、インターネット時代のプロ-アマ共同の1つの形態だと思われる。

ポスターでは、このほかにも、Vsnetが縁となっていくつかの新発見の食変光星の要素を決め、共著論文として発表できた例を報告する。